

NO. 46

かんじき体験

1 ねらい

- 昔から雪が多い地方の日常生活で使われていた「かんじき」について興味関心を高め、特性や使い方について理解を深める。

2 活動の計画

(1) 活動期間	1月～2月	
(2) 所要時間	任意	
(3) 活動場所	活動エリアマップ参照	
(4) 準備物	[自然ふれあい館]	[利用団体]
	・かんじき	・活動に適した服装 ・防水性のある靴（長靴等） ・タオル（汗拭き） ・飴等の行動食

3 活動について

- 1グループ10人程度で編成してください。
- ハイキングのコースは体力・人数・活動時間を考慮して決めてください。
- ハイキングの際に「つぼ足」で歩かせてみると「かんじき」の有用性を体感させることができます。
- 「かんじき」を装着した状態ではスキーコース内に入らないでください。
- 「かんじき」の数が限られているので、人数が多い場合は交代で活動をしてください。
- 発見した動物の足跡や自然物は他の人も観察できるようにそのままにしてください。

4 展開例

区分	内容
準備・説明 (10分)	(1) 活動のねらい、内容、諸注意を確認します (2) かんじきの装着方法と歩き方を説明します (3) コースの概要と野生動物等の観察方法について説明します
活動 (40分)	(1) かんじきを履きます ※別紙「かんじきのはき方」参照 (2) 雪の上を歩きます (3) ハイキングコースや周辺を散策します (4) 動物の足跡や冬の自然を観察します
まとめ・片付け (10分)	(1) 人数点呼、整理運動、道具の片づけをします (2) 感想発表等を行います

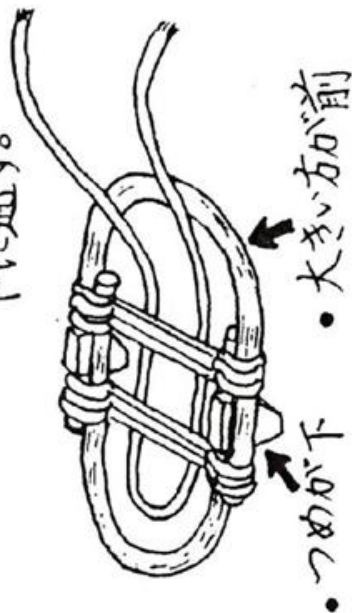
5 活動上の留意点

- ハイキングのコースは事前踏査を十分に行い、活動場所の確認と点検をしてください。

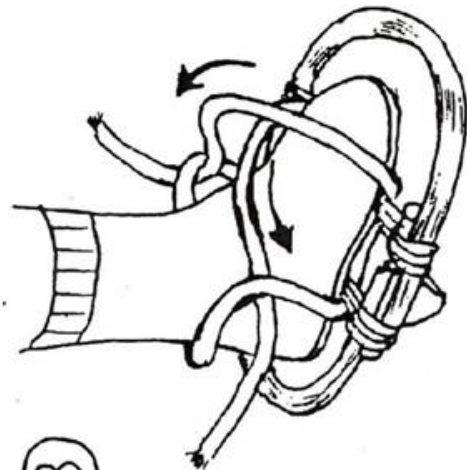
かんじきのはき方

①

- ひもをふたつおりにして下に通す。



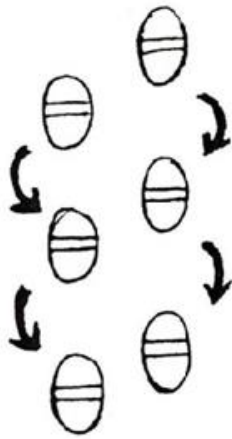
③



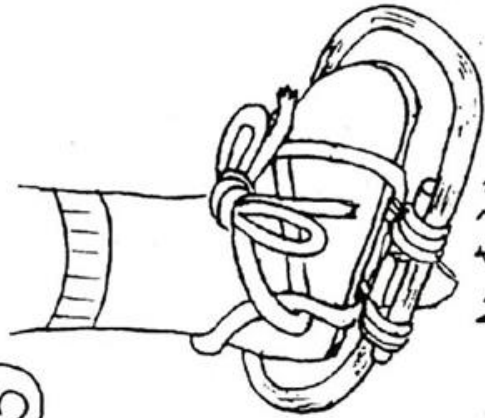
- クロスさせて、かかと（かかと）のひもに通す。

赤き方

- ※ ガニマタで!



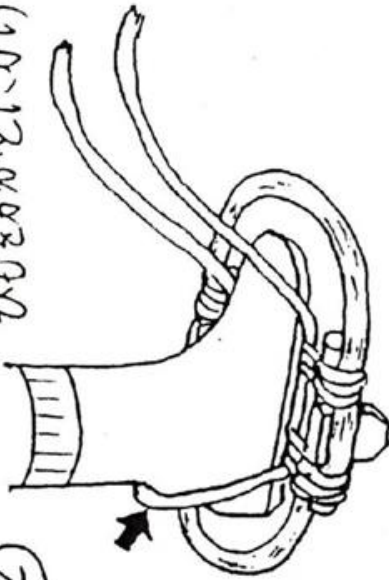
⑤



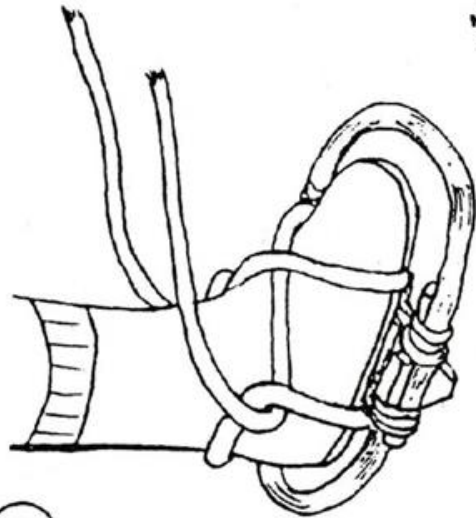
- 前（前）に引（ひ）いてきてむすぶ。

- 足をのせて、ひもをかかと（かかと）にかける。

②



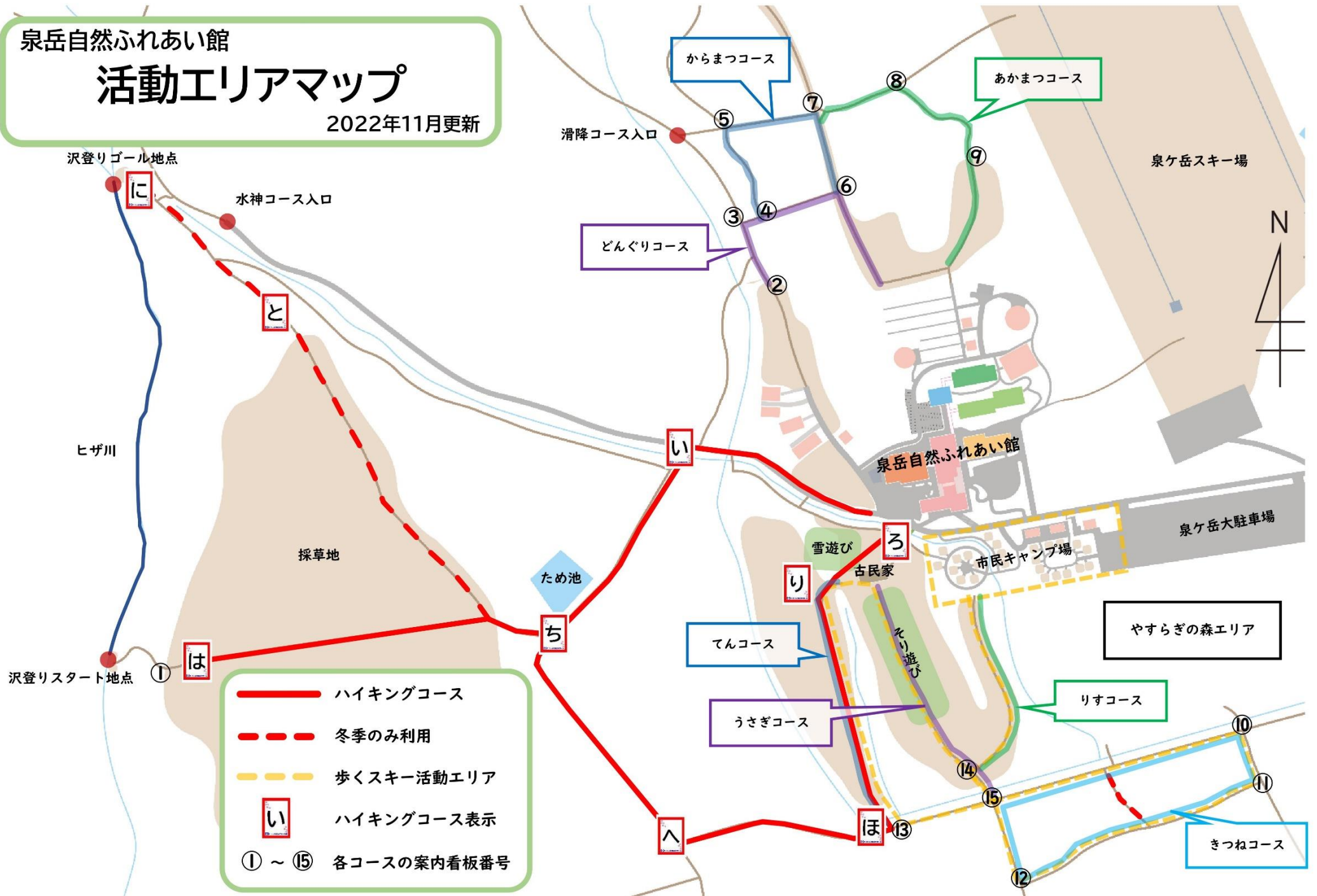
④



泉岳自然ふれあい館

活動エリアマップ

2022年11月更新



- ハイキングコース
- 冬季のみ利用
- 歩くスキー活動エリア
- ハイキングコース表示
- ① ~ ⑮ 各コースの案内看板番号